

モルタル面及びプaster面

18章14節: マスチック塗材塗り ダイニットGPペイント

公共仕様
DNT-新設・14-1-04

使用材料一覧表

一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 マスチックC用シーラー	ダイニットマスチックCシーラー	-	水道水
2 マスチック塗材C	ダイニットマスチックC	-	水道水
3 つや有合成樹脂エマルジョンペイント	ダイニットGPペイント	-	水道水

塗装仕様

表18.2.4 モルタル面及びプaster面の素地ごしらえ【B種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 乾燥	-	-	-	素地を十分に乾燥させる。
2 汚れ、付着物除去	-	-	-	素地を傷つけないように除去する。
3 穴埋め、 パテかい	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	ひび割れ、穴等を埋めて、不陸を調整する。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
4 研磨紙ずり	研磨紙P120～220			パテ乾燥後、表面を平らに研磨する。

(注) 合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。

表18.14.1 マスチック塗材塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20)
1 下地押え	ダイニット マスチックC シーラー	透明	-	0	マスチック ローラー	0.12	3時間以上
2 塗材塗り	ダイニット マスチックC	-	主材10: 混和液4	0	マスチック ローラー	1.80	16時間以上
3 仕上材塗り	ダイニット GPペイント	各色	-	0～10	刷毛 ローラー	0.20	5時間以上
4 仕上材塗り	ダイニット GPペイント	各色	-	0～10	刷毛 ローラー	0.20	-

(注) 1.素地ごしらえの種類は、塗材その他の欄による。

2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6によるB種とする。

18.2.5 モルタル面及びプaster面の素地ごしらえ

モルタル面及びプaster面の素地ごしらえは表18.2.4により、種別は特記による。
特記がなければ、B種とする。

18.14.2 マスチック塗材塗り

(a)マスチック塗材塗りは、表18.14.1による。種別は、特記による。

(b)仕上材塗りはつや有合成樹脂エマルジョンペイントとし、種類及び適用は特記による。

(c)マスチック塗材は、製造所において調合されたものとする。

(d)マスチック塗材は、施工に先立ちかくはん機を用いてかくはんする。

(e)塗付けは、下地にくぼり塗りを行ったのち、均し塗りを行い、次のローラー転圧によりパターン付けをして、一段塗りで仕上げる。

(f)塗継ぎ幅は、800mm程度を標準として、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。

(g)パターンの不ぞろいは、追掛塗し、むら直しを行って調整する。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成22年版に掲載されている数値です。

そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。

* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。

コンクリート面及びALCパネル面

18章14節: マスチック塗材塗り ダイニットGPペイント

公共仕様
DNT-新設・14-2-04

使用材料一覧表

一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 マスチックC用シーラー	ダイニットマスチックCシーラー	-	水道水
2 マスチック塗材C	ダイニットマスチックC	-	水道水
3 つや有合成樹脂エマルジョンペイント	ダイニットGPペイント	-	水道水

塗装仕様

表18.2.5 コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえ【B種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 乾燥	-	-	-	素地を十分に乾燥させる。
2 汚れ、付着物除去	-	-	-	素地を傷つけないように除去する。
3 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又は C-2	全面に塗り付けて平滑にする。
4 研磨紙すり	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する。

(注) 1.ALCパネル面の場合は、工程3の前に合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗り付ける。
2.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。
3.工程3の建築用下地調整塗材のC-1、C-2の使い分けは、15.5.5[下地調整](a)及び(d)による。

表18.14.1 マスチック塗材塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20)
1 下地押え	ダイニット マスチックC シーラー	透明	-	0	マスチック ローラー	0.12	3時間以上
2 塗材塗り	ダイニット マスチックC	-	主材10: 混和液4	0	マスチック ローラー	1.80	16時間以上
3 仕上材塗り	ダイニット GPペイント	各色	-	0～10	刷毛 ローラー	0.20	5時間以上
4 仕上材塗り	ダイニット GPペイント	各色	-	0～10	刷毛 ローラー	0.20	-

(注) 素地ごしらえの種類は、塗材その他の欄による。

18.2.6 コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえ

コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえは表18.2.5により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

18.14.2 マスチック塗材塗り

- (a)マスチック塗材塗りは、表18.14.1による。種別は、特記による。
 (b)仕上材塗りはつや有合成樹脂エマルジョンペイントとし、種類及び適用は特記による。
 (c)マスチック塗材は、製造所において調合されたものとする。
 (d)マスチック塗材は、施工に先立ちかくはん機を用いてかくはんする。
 (e)塗付けは、下地にくばり塗りを行ったのち、均し塗りを行い、次のローラー転圧によりパターン付けをして、一段塗りで仕上げる。
 (f)塗継ぎ幅は、800mm程度を標準として、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。
 (g)パターンの不ぞろいは、追掛塗をし、むら直しを行って調整する。

注意事項

* 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成22年版に掲載されている数値です。
 そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
 * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。

コンクリート面及び押出成形セメント板面

18章14節: マスチック塗材塗り ダイニットGPペイント

公共仕様
DNT-新設・14-3-02

使用材料一覧表

一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	マスチックC用シーラー	ダイニットマスチックCシーラー	-	水道水
2	マスチック塗材C	ダイニットマスチックC	-	水道水
3	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	ダイニットGPペイント	-	水道水

塗装仕様

表18.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント面の素地ごしらえ【B種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1	乾燥	-	-	素地を十分に乾燥させる。
2	汚れ、付着物除去	-	-	素地を傷つけないように除去する。
3	吸込止め	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂ワニス 2液形エポキシ 樹脂ワニス	全面に塗り付ける。

(注) 1.2液形エポキシ樹脂ワニスは、上塗り塗料製造所の指定する製品とする。
2.JASS 18 M-201は、日本建築学会材料規格である。

表18.14.1 マスチック塗材塗り【B種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20)	
1	下地押え	ダイニット マスチックC シーラー	透明	-	0	マスチック ローラー	0.12	3時間以上
2	塗材塗り	ダイニット マスチックC	-	主材10: 混和液4	0	マスチック ローラー	1.80	16時間以上
3	仕上材塗り	ダイニット GPペイント	各色	-	0~10	刷毛 ローラー	0.20	5時間以上
4	仕上材塗り	ダイニット GPペイント	各色	-	0~10	刷毛 ローラー	0.20	-

(注) 1.素地ごしらえの種類は、塗料その他の欄による。
2.押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18.2.6によるB種とする。

18.2.6 コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

コンクリート面及び押出成形セメント面の素地ごしらえは表18.2.6による。
ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

18.14.2 マスチック塗材塗り

- (a) マスチック塗材塗りは、表18.14.1による。種別は、特記による。
 (b) 仕上材塗りはつや有合成樹脂エマルジョンペイントとし、種類及び適用は特記による。
 (c) マスチック塗材は、製造所において調合されたものとする。
 (d) マスチック塗材は、施工に先立ちかくはん機を用いてかくはんする。
 (e) 塗付けは、下地にくばり塗りを行ったのち、均し塗りを行い、次のローラー転圧によりパターン付けをして、一段塗りで仕上げる。
 (f) 塗継ぎ幅は、800mm程度を標準として、塗継ぎ部が目立たないように、むらなく仕上げる。
 (g) パターンの不ぞろいは、追掛塗をし、むら直しを行って調整する。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成22年版に掲載されている数値です。
 * そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
 * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。